

そりゃあ、
うちもソトも
どっちも大事っしよ。
今年はどうちも！

ソーシャル・アントレプレナーシップ
を育むなら

リフレクション
(グループ対話) により
自己を探求する

「うち」を学ぶ

こんな人もやってみよ
・これからの時代「どう生きるか」悩む。
・悩みや弱みまで見せられる仲間が欲しい。
・就活や学生生活のアドバイスが欲しい。
・いろんな人と交流しフィードバックが欲しい。
・地元コミュニティに関わる仕事に興味がある。
・地域が抱える問題解決に関わりたい。
・実践的な取り組みに参加したい。
・チームワークが好き。

「ソト」を学ぶ

地域コミュニティと
連携して社会のリアルな
課題解決にチャレンジする

学生募集中 
ソーシャル・アントレプレナーシッププログラム
2024

ソーシャル・アントレプレナーシッププログラムとは？

よりよい社会に向けて、能動的に動き、考動できるソーシャル・アントレプレナーシップ
(社会企業家精神&行動様式)を育成するプログラムです。

地域課題の解決に興味がある方や、実践的な取り組みに参加したい方、自分探しをしている
方は是非参加してください。

地域課題の解決に向けたグループワークや、多様な人とのリフレクション(振り返り)とい
った活動を通して、骨太な自分を育み、社会との関係を豊かなものにしていきましょう！

◆応募要項

実施期間 2024年6月末～11月末
(終了後も自発的に活動は継続できます！)

対 象 本学学部学生・大学院生
※1.2年次生の参加を優先します。

参 加 費 無 料
※現地までの交通費及び宿泊費を本学で負担します(上限あり)。食費などは自己負担。

定 員 30～40名
※定員を超える応募があった場合は、応募内容等に基づき選考を行います。

応募方法 QRより申し込み

募集締切 2024年5月31日(金) 6月7日まで
受け付けます！

協力団体 一般社団法人カンデ (地域とのパイプ役)
一般社団法人Work Design Lab (社会実装案の伴走)

◆注意事項

- ◎ 事前に以下の注意事項をよく理解した上で応募してください。
- ① 当プログラムは正課外活動となるため、成績評価・単位認定等はありません。
 - ② フィールドワークの実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。
※活動地は千里山キャンパスやキンヤバス外となります。
 - ③ 当プログラムでは、参加者自身が主語となる対話や発表の機会が多い点を予め認識してご参加ください。

◆問い合わせ先

関西大学社会連携部 地域連携センター

担当：増原、来馬

TEL 06-6368-1032 (平日9:00-17:00)

Mail: chiiki-mm@ml.kandai.jp

<https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/entry/entry077030.html>



プロジェクトコース概要

【目的】

自己の外的世界と内的世界を深耕し、タフで協働志向のソーシャル・アントレプレナーシップを育みます。

学部や学年の異なる学生がグループを構成し、要所要所で課題オーナー、社会人コーディネーター、学生メンター、教員メンターが活動に参画して、活動を豊かにしていきます。

実践を通じた学びを体験することで、よりよい社会に向けて自ら考動できる力を養い、外的世界を耕す力を育みます。リフレクションといったグループ対話を繰り返すことで、自己を探究して、自己の思いと社会とのつながりを深め、内的世界を耕す力を育みます。



実施内容と流れ

◆キックオフ・ミーティング
6/27 (木) 17時～20時
ガイダンス/チームビルディング

◆中間発表会
9/21 (土) 午後
取り組み内容の報告/ワーク

◆最終成果発表会
11/30 (土) 午後
最終報告会

6月末～11月末

◆地域の社会課題解決プロジェクトに実践的に取り組み、社会実装を目指す

グループ単位で現地フィールドワークを実施します。地域住民・企業等へのインタビューや現地アンケート調査を行いながら、社会実装案を企画し、実践を目指します。



◆リフレクションといったグループ対話手法を用いて、意欲を高めながら活動を継続する

毎週、リフレクションというグループ対話を行い、自己や活動内容を客観視して言語化する力を育み、目標に向かって邁進する意欲を高めます。
課題図書の読解を行って基礎スキルを養います。

◆全体での活動報告（中間発表会・最終成果発表会）を通して、活動や自分を客観視して言語化してまとめ、発表する

参加者を含めた本プログラムに関わる人全体で、活動報告としてグループ発表を行います。
全体での対話と交流で、よりよい化学反応がうまれることを目指します。



◇プロジェクト終了後も、自発的に地域や活動拠点に関わり続けることができます。

◇2025年5月中頃からエントリーを開始する、
地域連携センター＜地域で活動する若い力＞奨励賞で発表することもできます。

メンターについて

●皆さんの活動を見守り、相談にのってくれるメンターを各チームに配置します。
昨年本プログラムを経験した学生メンターや人生の先輩として教員メンターが活動を見守ってくれます。

＜教員メンター＞

責任者：横山 恵子（商学部）	小井川 広志（商学部）	深澤 光樹（商学部）	松下 慶太（社会学部）
山田 剛史（教育推進部）	岡 照二（商学部）	細見 正樹（商学部）	福田 公教（人間健康学部）
土居 潤子（経済学部）	沈 政郁（商学部）	杉本 英晴（社会学部）	

【実施場所】 関西大学千里山キャンパスほか
兵庫県丹波市、福井県大野市、
大阪府河内長野市、広島県府中市

【対象】 本部学部学生・大学院生

【定員】 30～40名
※複数の課題に応募（第3希望）することはできませんが、最終的に参加できるのは1つの課題のみです。

【メンバー】 学生10チーム
コーディネーター複数名

【活動内容】 ・現地フィールドワーク
・住民・自治体職員・企業へのインタビュー
・現地アンケート調査
・リフレクション（グループ対話）

【協力団体】 一般社団法人カンデ
一般社団法人Work Design Lab

【参加費】 無料
現地までの交通費及び宿泊費を本学で負担します（上限あり）。
食費などは自己負担。

おすすめポイント

- 大学を飛び出して、
現地でのリアルな体験を通してしか得られない学びがある！
- 地域でのまちづくりの現場の最前線に触れることができる！
- 地域やそれを支える産業を見つめ、
その課題や価値を見出す能力が身につく！
- 社会実装可能なレベルの提案を考え、
ブラッシュアップしていく過程を経験できる！
- 地域に深く関わることで、プロジェクト後も関わり続けられる
新たな故郷を得ることができる！
- リフレクションというグループ対話を行い、自己探究できる！
- 就活に役立つストーリーや武器を身につけることができる！



参加学生の声

○夢やこれからの展望について熱く語り合えて、とても有意義で楽しかった。
自分を見つめ直すきっかけとなった。

○自分にしっかりと向き合い、自分について他の人と話すことで、弱みや強みを
知ることができた。また、弱みだと思っていた部分もそれで良いんだと認める
ことができた。



○社会にある実際の課題に対して向き合うことは、これまでの人生で経験したことがな
かった、答えの無い課題に対して向き合うことだったので、それを経験できて良かった。
課題に対して行き詰まった時の考え方を学べたことが良かった。

○自分たちが実際に目の前にある生きる課題に触れながら、自分たちで何でも良いから
やってみることができた自由さと周りの大人の正解を求めていないスタンスが良かった。



【詳しい情報はこちら】

関西大学
ソーシャル・アントレプレナーシッププログラムウェブサイト
<https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/SEJumco/index.html>



21 世紀型教養教育プログラム 「SEJumCoプログラム」募集要項

Social Entrepreneurship Development Program through "Jumbled Collaboration" based on the deepening of the external and internal worlds

通称:アボカド・プログラム

地域連携センターでは、今年度も学生がよりよい社会に向けて、自ら考動できるソーシャル・アントレプレナーシップ（社会企業家精神&行動様式）を育成するプログラムを実施します。

地域課題の解決に興味がある方や、実践的な取り組みに参加したい方、自分を深堀して可能性を拡げたい方は是非参加してください。

参加を希望する方は、以下の要領により申請を行ってください。

※本プログラムの単位認定はありません。

※本プログラムは、一般財団法人三菱みらい育成財団の2023年度助成事業「カテゴリー4：21世紀型教養教育プログラム」に採択されています。

一般財団法人三菱みらい育成財団のHPはこちら↓↓（外部のページが開きます。）

<https://www.mmfe.or.jp/entry/>

1. 対象

本学学部学生及び大学院生

2. 募集定員・期間

（1）募集定員

30～40名

※定員を上回った場合、1・2年次生を優先し、応募内容等に基づき選考を行います。

（2）募集締切

2024年5月31日（金）

6月7日まで
受け付けます！

3. プログラム内容

(1) プログラム

目的

本プログラムでは、主として以下の活動を行います。

- ① 地域の社会課題解決プロジェクトに実践的に取り組み、社会実装を目指す。
- ② リフレクションといったグループ対話手法を用いて活動を継続する。
- ③ グループ活動だけでなく、全体での活動報告（全2回）を通して、活動や自分を客観視して言語化してまとめ、発表する。

上記の①～③の活動を通して、自己の外的世界と内的世界を深耕し、タフで協働志向のソーシャル・アントレプレナーシップを育みます。

学部や学年の異なる学生がグループを構成して、上記の①～③の活動を遂行していく上では、要所要所で課題オーナー、社会人コーディネーター、学生メンター、教員メンターが活動に参画して、皆さんの活動を豊かにしていきます。

実践を通した学びを体験することで、よりよい社会に向けて自ら考動できる力を養い、外的世界を耕す力を育みます。リフレクションといったグループ対話を繰り返すことで、自己を探究して、自己の思いと社会とのつながりを深め、内的世界を耕す力を育みます。

実施内容

①に関しては、グループ単位で現地フィールドワークを実施します。住民・自治体職員・地域企業へのインタビューや現地アンケート調査等を行いながら、社会実装案を企画し、実践を目指します。

②に関しては、毎週1時間、リフレクションというグループ対話を行い、自己や活動内容を客観視して言語化する力を育み、目標に向かって邁進する意欲を高めます。同時に、基礎スキルを養うために、課題図書の読解も行います。

③に関しては、参加者や本プログラムに関わる人全体が、期間中2回ほど集まり、活動報告としてグループ発表をしてもらいます。また全体での対話と交流により、よりよい化学反応がうまれることを目指します。

注意点

活動する地域として、複数地域から計10課題が皆さんを待っています。各課題には、受入れ定員が決まっています。また課題ごとに、実践の詳細スケジュールが異なります。事前に内容の確認をしてください。

複数の課題に応募（第3希望まで）することはできますが、最終的に参加できるのは1つの課題のみです。

(2) 実施方法

原則対面 ※状況に応じてオンライン（Zoom）を併用

(3) 活動期間

2024年6月末～2024年11月末 ※学期中は学業に支障ない範囲での活動となります。

4. 申請方法

(1) 申請フォーム

以下の申込みフォームへアクセスし、必要事項を入力の上、申請してください。

URL: <https://forms.office.com/r/j8suxA0qKF>

※申込内容がご登録のメールアドレス宛に届きますので、ご確認ください。

※申請時にご記入いただいた個人情報は、本プロジェクトでのみ使用します。

(2) 受講可否の連絡

募集締め切り後、受講可否の連絡メールを送付します。

※6月中旬頃に、事務局からメールを送信します。（予定）

※メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

5. 選考について

募集定員を超えた場合、「志望動機」の内容に基づき選考を行います。

※申請に不備がある場合の連絡や、受講可否等の重要な連絡はメールで行うため、定期的にメールを確認してください。

6 プログラムスケジュール(予定)

▼全体スケジュール

5月 31日(金)	募集締切
6月 中旬	受講可否通知
6月 27日(木) 17～20時	キックオフミーティング
7月～11月末まで	それぞれの課題によって活動日程が異なります。
9月 21日(土) 午後	中間発表会(取組み内容の報告、合同ワーク)
11月 30日(土) 午後	成果発表会

※全体スケジュールに記載の日は原則、全員参加となります。

7 プログラム参加費用

無料 (現地までの交通費及び宿泊費を本学で負担します(上限あり)。食費などは自己負担です。)

※交通費及び宿泊費は本学の規程額でお支払いします。

※保険は学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

8 プログラム実施体制

コーディネーター:横山 恵子 教授(商学部)、細見 正樹 准教授(商学部)

山田 剛史 教授(教育推進部)

事務局:関西大学 社会連携部 地域連携センター

9 その他

- ① 本プログラムは正課外活動となるため、成績評価・単位認定等はありません。
- ② フィールドワーク(企業訪問)の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は千里山キャンパスやキャンパス外となります。
- ③ 当プログラムでは、参加者自身が主語となる対話や発表の機会が多い点をあらかじめ認識してご参加ください。

10 問い合わせ先

関西大学 社会連携部 地域連携センター

電話:06-6368-1032 Email: chiiki-mm@ml.kandai.jp

URL: <https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/entry/entry077030.html>

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名(アボカドPJに関して)・学籍番号・氏名・所属学部
/研究科を明記してください。

以上

兵庫県丹波市での取り組み課題①

株式会社村上社寺工芸社とともに考える「伝統と継承」

＜課題オーナー：株式会社村上社寺工芸社 専務 村上貢章さん ＞

村上社寺工芸社はユネスコ無形文化遺産に認定された伝統技術のうち、樹々から剥いた皮を材料として加工し、屋根を葺(ふ)く檜皮葺や木の薄板を幾重にも重ねて屋根を葺く工法の柿(こけら)葺きを主として行う会社です。全国的にそういった会社が少ない中、丹波市には3社の植物性屋根を葺く会社があり、地域の中でも存在感があり、注目度の高い取り組みを行っています。日本の伝統的な技術や文化を深く学ぶことで、日本の建造物の特性や丹波市の特性を実践的かつ積極的に学び、発信することを前提として、下記のいずれかに取り組んでもらいます。

- ①技術と文化を継承していく中で、市内や全国的に認知度が低いという課題がある。植物性屋根の普及やどうしたら若い層などに波及していくかを考える
- ②法律の関係で新築などに植物性屋根を使うことができない一般家庭や、公共的な建築をつくる中で、植物性屋根を作っていないと普及しないという課題があり、どうすれば一般に使えるようになるかを考える
- ③檜皮を材料にする過程で、檜皮の端切れがでてくる。現状で牛の寝床などの活用があるが、それ以外は産業廃棄物として処理をしている。もっと檜皮の端切れを有効活用することができないか考える

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・村上社寺工芸社の仕事の体験、活動分析とその実態と集落の住民評価分析
- ・有識者、協力団体への調査結果報告
- ・課題への解決方法の提案

プログラム詳細

実施場所：丹波市山南町、青垣町

日程：①8月7日～9日

②8月27日～29日

③10月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：佐治倶楽部、丹波市

兵庫県丹波市での取り組み課題②

中山間地域における公共交通のありかたを考える

<課題オーナー：NPO 法人鴨庄>

NPO 法人鴨庄では、平成 15 年(21 年に法人化)から自治会内で独自の公共交通「ふれあいバス」の運営を行っている中で当初は利用者も多かったが、少子高齢化に伴い、年々、利用者が減ってきています。そのため、運営方法の見直しやニーズの調査、新しい取り組みを考えなければいけないフェーズを迎えています。人口減少、少子高齢化に伴い、移動する手段が限られていく中で自治協議会(丹波市では小学校区単位)が自ら公共交通の機能を担っていることは珍しいことです。

この課題では、今後、日本全国で課題となっていく地方の公共交通の課題解決の一步とすべく、「ふれあいバス」の現状と課題を学び、中山間地域における公共交通のあり方を考え、実装に向けた提案に取り組んでほしいと思います。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・現状のふれあいバス活動分析とその実態と集落の住民評価分析
- ・有識者、協力団体への調査結果報告
- ・課題への解決方法の提案

プログラム詳細

実施場所：丹波市山南町、青垣町

日程：① 8 月 16 日～18 日

② 9 月 17 日～19 日

③ 10 月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4 名

協働者：鴨庄自治協議会、有償運送協議会(長田先生)、佐治倶楽部

兵庫県丹波市での取り組み課題③

宿場町「佐治」のグランドレベルのデザインから考える

「暮らし」

＜課題オーナー：合同会社 SAJIHAUS/NPO 法人佐治倶楽部 出町慎さん＞

丹波市で古民家の改修・再生、佐治の町並みや空き家を活用したイベントを実施している出町氏とともに宿場町「佐治」のデザインを検討します。道沿いに伝統的な妻入りの古民家が建ち並ぶ「宿場」という形態を残しながらも、近年、町を出歩く人も少なく、老朽化により解体される家もあります。出町氏(佐治倶楽部)が行っている佐治のイベントなどへの参加を通して、地域の現状や課題を知り、中山間地域の空き家問題を自分ごととして理解してもらいます。その中で、宿場町「佐治」において、グランドレベルのデザインを考え、町の魅力の再発見や磨き上げを行います。

※SAJIHAUS…一級建築士事務所

※佐治倶楽部…空き家の利活用や地域再生を行う法人

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・ 出町氏の活動分析とその実態と集落の住民評価分析、課題の抽出と限定化
- ・ 佐治の有識者、協力団体への調査結果報告
- ・ 佐治モデルの空き家活用方法の提案/佐治倶楽部の業務の改善や新しい事業の提案

プログラム詳細

実施場所： 丹波市青垣町

日程：① 8月30日～9月1日

② 9月17日～19日

③ 10月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：8名

協働者：一般社団法人 be、佐治地域自治協議会

河内長野市南花台での取り組み課題①

ニュータウンでできる住民参加型のコンポストとは？

<課題オーナー：コノミヤテラス運営研究会>

R7 年度には芝生広場、R8 年度にはサッカースタジアムを内包した公園が整備予定のニュータウン南花台。新しくできる公園では様々なコミュニティ活動が展開される予定であり、その1つにコンポストを使った活動がある。南花台を舞台に「住民参加型のコンポスト」の活動をどのように根付かせ、広げることができるのか検討・提案を行い、実践活動にまで落とし込むことを目指します。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・コンポスト全般についての調査、フィールドワーク
- ・調査結果の分析、企画
- ・地域住民へのヒアリング
- ・コンポストの実践
- ・持続的なコンポストコミュニティの形成

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市南花台（コノミヤテラス）

日程：①8月19日～21日

②9月5日～7日

③10月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：地域住民

河内長野市南花台での取り組み課題②

開設 10 年を目前としたまちづくり活動拠点の環境整備

<課題オーナー：コノミヤテラス運営研究会>

9 年目を迎えたまちづくり活動拠点「コノミヤテラス」では、現在様々な取り組みが実践されています。これまでも地域住民参加型で拠点の整備を実践してきましたが、10 年目を目前に、再度、環境整備を行います。具体的には、100,000 円の予算の中で、地域住民参加型の DIY で実現可能な提案を企画・実践を行ってほしいと考えています。ポイントは単なる DIY ではなく、地域住民と共に作り上げる企画として成立させることです。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・拠点運用実態についての調査
- ・調査結果の分析、企画
- ・DIY による環境整備の設計提案
- ・住民参加型の DIY による環境整備の実施
- ・持続的な DIY コミュニティの形成

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市南花台（コノミヤテラス）

日程：① 8 月 19 日～21 日

② 9 月 5 日～7 日

③ 10 月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4 名

協働者：地域住民

河内長野市南花台での取り組み課題③

まちづくり活動拠点を中心とした持続的な

「文化発信活動」づくり

<課題オーナー：コノミヤテラス運営研究会>

R7 年度には芝生広場、R8 年度にはサッカースタジアムを内包した公園が整備予定の南花台のまちで、「環境」もしくは「スポーツ」をテーマにした文化的な活動を企画・実施してほしいと考えています。食、映像、音楽など様々な手法を検討し、今後、南花台のまちに必要な文化とはどんなものなのか、それをどのように発信し、持続的な活動として成立させることができるか、企画・検討・実施を地域住民との交流のもと行います。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・南花台や河内長野に関する調査、フィールドワーク
- ・地域住民へのヒアリング
- ・調査結果の分析、企画
- ・文化的な活動の提案・実施
- ・持続的な活動のための計画づくり

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市南花台（コノミヤテラス）

日程：①8月19日～21日

②9月5日～7日

③10月以降の活動日については要調整

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：地域住民

福井県大野市での取り組み課題①

有終西小学校魅力化プロジェクト

<課題オーナー：大野地区まちづくり協議会>

有終西小学校のエントランス活用提案を考えます。殺風景なメインエントランスに座れる場所や植栽を計画するなど空間提案に加え、市内の文化を読み取りイベントを企画するなどソフトを提案し実施します。

公共空間の利活用に関して、プロジェクトの企画および調査や市民とのワークショップと協議会へ提案、社会実験と報告を通じて、実践的にプロジェクトの一連の流れを経験します。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック
- ・学生による学習のふりかえり
- ・学生同士の意見交換（グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む）
- ・プレゼンテーション（スピーチ、模擬授業等含む）
- ・課題探究（プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む）
- ・フィールドワーク
- ・その他の手法（地域の方々との交流を通してコミュニケーション能力を養う）

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：① 6～7月 ガイダンス、現地調査、企画案の確定

② 7～9月 協議会への提案、社会実験やワークショップの実施、中間報告

③ 9～11月 報告

定員：4名

協働者：横町編集部、荒島社、eachbase、純ちゃん農園など

福井県大野市での取り組み課題②

大野市乾側地区子どもの環境づくりプロジェクト

<課題オーナー：乾側青年部>

乾側地区では、児童数の減少などにより、小学校が廃校となり、近隣で児童数が多い下庄小学校に統合されます。この統合をきっかけとして、乾側公民館敷地内の伐採される桜の木を活用して、こどものイベントを企画運営します。

乾側地区を対象に、子どもたちの環境づくりに関して、プロジェクトの企画および調査や市民とのワークショップと協議会へ提案、社会実験と報告を通じて、実践的にプロジェクトの一連の流れを経験します。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック
- ・学生による学習のふりかえり
- ・学生同士の意見交換（グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む）
- ・プレゼンテーション（スピーチ、模擬授業等含む）
- ・課題探究（プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む）
- ・フィールドワーク
- ・その他の手法（地域の方々との交流を通してコミュニケーション能力を養う）

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市南花台

日程：① 6～7月 ガイダンス、現地調査、企画案の確定

② 7～9月 乾側青年部への提案、社会実験やワークショップの実施、中間報告

③ 9～11月 報告

定員：4名

協働者：横町編集部、荒島社、eachbase、純ちゃん農園など

福井県大野市での取り組み課題③

東広場駐車場の食の広場構想のビジネスプランづくり

<課題オーナー：大野飲食業組合>

東広場駐車場の活用に関して、新たなビジネスプランを構想するプロジェクトを実施します。大野飲食業組合の食の広場構想の実現を目指し、主に駐車場としての機能を持つ広場を活用しながら、計画づくりを行います。

公共空間の利活用に関して、プロジェクトの企画および調査や市民とのワークショップと協議会へ提案、社会実験と報告を通じて、実践的にプロジェクトの一連の流れを経験します。

内容イメージ（実施する内容の例（チーム内の意見交換の中で適宜変更））

- ・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック
- ・学生による学習のふりかえり
- ・学生同士の意見交換（グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む）
- ・プレゼンテーション（スピーチ、模擬授業等含む）
- ・課題探究（プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む）
- ・フィールドワーク
- ・その他の手法（地域の方々との交流を通してコミュニケーション能力を養う）

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：①6～7月 ガイダンス、現地調査、企画案の確定

②7～9月 飲食業組合への提案、社会実験やワークショップの実施、中間報告

③9～11月 報告

対象：本学学部学生・大学院生

定員：4名

協働者：横町編集部、荒島社、eachbase、純ちゃん農園など

広島県府中市での取り組み課題

地域×教育をコミュニティスクールの現場から体感する。(仮)

<課題オーナー：府中ノアンテナ 小谷直正さん>

中山間地域の小中一貫校において、「地域の中に学校を、学校の中に地域を。」をキーワードに、地域活性化と未来の教育づくりを行っています。例えば、中学生による「模擬会社」運営を通じた、地域に関わる活動や、校内のコワーキング施設の実験などです。多くの地元協力者の助力を得て活動していますが、多様な担い手不足が課題で、全国に向けた発信やこのフィールドを活用したプレイヤー集めを今後行っていきたいと考えています。

内容イメージ（実施する内容例・変動する可能性あり）

- ・府中市内の事業者・明郷学園を訪問、調査
体験や意見交換を通じて地域特性、地域との関係を調査する。
- ・コミュニティスクールでの教育実習
コミュニティスクールでの教育実習を通して、地域での教育の在り方を学ぶ
- ・授業づくり
総合学習の時間で、模擬会社の取り組みに授業を通して、
参加者の興味や専門性を活かして関わる

プログラム詳細

実施場所：広島県府中市

日 程：①9月中旬から下旬

②10月上旬から中旬

定 員：4 名

協力団体：一般社団法人 Work Design Lab、府中ノアンテナ、府中市内事業者（仮）